

令和3年度 取組と達成目標 -図書館(若狭図書学習センターを含む。)-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
1 情報の提供	○適切な資料の収集 ○オンラインデータベースの提供 ○情報リテラシー向上の支援	○郷土資料のデジタル化 ○レファレンスサービスの積極的な発信	○他図書館への資料提供	○時代のニーズに適合した、県立図書館に相応しい蔵書構成を実現 ○本の特集、展示の魅力度アップ	○レファレンスツールの作成 ○効率的な資料保存環境の整備
	●受入資料数 22,000点 ●オンラインデータベース提供 6種 ●資料・情報の調べ方講座の開催 2回	●郷土資料デジタル化計画の立案と実施 ●覚え違いタイトル集などレファレンスサービスの広報	●県内市町図書館への相互貸借冊数 10,000冊	●長期ビジョン、教育振興計画等を踏まえ、「資料収集方針」を見直し ●Display Boxesを活用した本の特集の実施	●テーマ別調べ方案内等の作成、改訂 8点 ●集密書庫の書架配置、収蔵計画の立案
2 他機関との連携	○市町図書館との意見交換 ○他図書館等とのレファレンス協力	○県下で残すべき資料の県立図書館での受入(リポジトリ機能)	○インターネット予約による市町図書館での資料受取 ○市町図書館との共同企画の開催	○ビジネス支援(事業創継)、医療健康など他機関と連携した共同企画の開催	○県内図書館司書のスキルアップ ○他の図書館との資料物流体制の維持
	●市町図書館への訪問 35館 ●レファレンス協同データベース登録件数 50件	●リポジトリ機能の方向性を検討	●インターネット予約他館受取予約冊数 6,000冊 ●市町図書館との共同企画 1回	●他機関と連携した本の特集 35回 ●他機関と連携したイベント 15回	●職員研修の開催 10回 ●オンラインを活用した研修の実施 ●効率的な物流体制の検討
3 生涯学習活動の支援	○「白川文字学」を学ぶ機会の提供 ○図書館施設の新型コロナ感染予防対策	○子どもの読書活動の推進 ○新しい生活様式に配慮した子どもの読書活動の推進	○文書館、ふるさと文学館と連携した魅力ある企画の実施 ○ボランティア活動の受入	○ホームページ、SNSにより図書館サービスやイベント等の情報発信を強化 ○施設(庭園等)の有効活用	○イベント参加申込の効率化
	●白川文字学に関する展示・イベント 6回 ●手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保等	●ジュニア司書の養成 10名 ●県立学校での郷土資料調べ方講座の開催 2回 ●推奨図書コーナーの充実 ●子ども室の環境整備や読み聞かせ等の実施 ●電子書籍導入の検討	●3館連携企画 3回 ●図書館ボランティア活動延べ回数 1,000回	●ホームページ閲覧数 24,000回/月 ●SNSやメディアによる効果的な広報 ●庭園散策マップの作成や庭園を活用した読書イベント等の実施	●メールでの申込受付の促進

※上段は取組項目、下段は目標 ゴシック体は令和3年度の新規項目

※本案は令和3年4月当初のものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ここに示された業務・行事等がやむを得ず延期や中止になることがあります。